

サンセイランディック大阪便り Vol.31

平成26年7月号

不動産 よもやま話

「後の祭り」、冒頭から何を？とお思いかもしれませんが、突然ですがこの言葉の由来をご存知でしょうか？関西で7月と云えば京都の「祇園祭」、日本三大祭りの一つでもあります。この「祇園祭」に由来しているそうです。「祇園祭」は約一か月間行われ、以前は、豪華な山鉦が巡行する7月17日の「前の祭り」と、7月24日の還車の行事を「後の祭り」と言い、二つに分かれていました。「前の祭り」に比べると「後の祭り」は有名な鉦もなく見逃してしまった事を残念がって、そこから「手遅れ」の意味になったと言われていました。

今年からは「後祭巡行」も復活するらしく、見ごたえのあるお祭りになりそうです。

さて今月は、地価の下落が続く、地方再生のお話です。今年1月の地価公示では、東京・大阪・名古屋の三大都市圏の全用途平均が6年ぶりに上昇に転じました。これに対して地方圏は1993年から実に22年間も下落傾向が続いています。今回も地方圏の調査地点の4分の3は下落しており、上昇したのは札幌、仙台、福岡など一部の大都市に過ぎません。東京など大都市を中心に再び不動産ブームが盛り上がる陰で、人口減少・高齢化で住宅需要や経済活動が落ち込む地方。その中で新たな展開を見せている町があります。「徳島県神山町」です。神山町の人口は6,000人、高齢化率46%の小さな町ですが、最近、若者や起業家の移住が増えた事で注目を浴びています。空き家再生と若者の定住を目的とした街づくりプロジェクトが契機になり、何社かのIT系ベンチャー企業が古民家を改修したサテライトオフィスを開設、移住者の増加に伴ってパン屋やカフェ、図書館等が開業して町が大きく変わり始めているそうです。インターネットの普及で、場所や時間から自由な働き方が可能になって実現したサテライトオフィスですが、徳島県では過疎地域まで高速・大容量の通信回線を整備しており、このような情報通信インフラがさらなる人材誘致に役立っているのでしょうか。

このような新たな地方再生の試みは、かつて地価高騰に一攫千金を狙った1980年代後半の安易なりゾート開発ブームとは全く異なる、少子高齢化にふさわしい地に足の着いた展開をみせているのではないのでしょうか。

社員の 独り言

今年もまた、この季節がやってきました。ダイエットです。私は毎年、会社で受けさせてもらえる人間ドックの前に、体重を落とし、お酒を減らして肝臓を整えるという、今年もいい記録さえ残ればいいのヨ的な姑息な努力を自分に強いています。まあその場限りではあるけども、年に一度くらい頑張っておかないと、大酒飲みアラフォー女子の、下腹膨張率は右肩上がりな訳で、放っておくとお腹回りに立派な「浮き輪？」が現れます。そのままプールへ行けそうです(泣)。

そこで毎年ちょっと頑張っちゃう訳ですが、去年はお金をかけた割に失敗でした。去年行ったダイエットというのが「一食置き換えダイエット」。買いました、一か月分。一食分ずつ袋に入った、置き換える為の栄養はあるけどカロリーは低い粉？で、申し訳程度にバナナや抹茶等の味が付いています。シェイカーで200cc程の水に溶かし、飲む晩御飯…。これが虚しい！何だか悲しい！いくらゆっくり飲んでも5分もかからない晩御飯が終了すると、涙が出そう。それにすぐにお腹が減る。空腹を我慢して眠りに付くのは至難の業。それに何より、減りませんから！体重…。私には向いていませんでした。

そこで今年は、以前成功例のある「こんにやく・きのこ・もやし」多用ダイエットしています。脂身の少ない肉等と工夫して調理するのも楽しいですし、美味しく出来たときはちょっと感動ものです。今のところ順調に減量中。さて何キロ落とせるか、フフ☆と思いつつ、飲み会とあらばホイホイ出て行く今日この頃。まさに「後の祭り」にならない様、気を付けます！

底地・居付き、買います。

株式会社サンセイランディック 大阪支店
〒541-0046 大阪市中央区平野町3-6-1
あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル3階
TEL : 06-4706-0040 FAX : 06-4706-0045



底地くん

